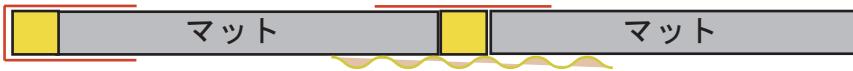


立面図

布テープでマットとマットを固定する。



マットが動かないように、小さな木材の下に滑り止めを敷く。

長い木材を包むようにマットの上下に布テープで固定する。

二人1組で体験を行う。
すべての組の片方の子だけが車いすに乗った後に、
もう片方の子が乗る。どの子が乗るのか先生に指示
を出してもらえるとスムーズに進む。

布テープ

木材

滑り止めシート

木材は持参しますが、**布テープ**は
学校で準備してください。

カラーコーン（パイロン）
などの目印を回る。
車いすの台数が多く、カラー
コーン同士の間隔が狭い場
合などは、体育館のカラ
ー テープを利用する方が良い。

車いす・介助者のペア
往路は自力走行

往路は自走中心で行い、介助の不要・必要を体感
させる。(介助者は見守り)
復路は車いすの解除体験のために、全介助。

車いす

介助者

1組のマットに対して、車いすが複
数台の場合、先行する車いすがマット
の隙間を超えたことを確認してから、後発の車いすが出発する。

マットによっては柔らかすぎて、段差の体験ができない
ため、長い木材を使って同じ条件を作り出します。
段差を上るか所に長い木材を設置します。

車いす

介助者

車いす

介助者